

河北新報

11月6日(日)

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

「東」は、未来



被災夫婦に写真の贈り物 岩沼で撮影会

東日本大震災で被災し、結婚式を挙げられなかったり、かつての結婚写真が流失したりした夫婦を対象にした「ウェディングフォトプロジェクト」が5日、岩沼市のモンタナリゾート岩沼で開かれた。東京のNPO法人ハンスオン東京などの主催。

参加した県内の17組は、用意されたタキシードとウェディングドレスからそれぞれお気に入りの一着を選んで撮影に臨んだ。岩沼市の自営業斎市雄さん(59)と美



紅葉の中で行われた撮影会—岩沼市のモンタナリゾート岩沼

和子さん(60)は自宅が津波被害を受けて38年前に建てられた仮設住宅で暮らしている。結婚式の写真も失っている。こういう機会は

「ありがたい」と話していた。

仙台市宮城野区の公務員石田秀美さん(30)と文子さん(31)は震災の影響で、10月に婚姻届を出したものの、式を挙げることができなかった。文子さんは「まさかドレスを着られると思っていなかったの、うれしい」と満足そう。

同日は岩沼市内の竹駒神社でも撮影会があり、7組が参加した。ハンスオン東京の大久保奈美理事は「被災した人たちの再出発になればと企画した。今後も被災地への支援を続けていきたい」と話していた。